

第21回おおさか自治体学校

維新政治の8年間で いま地域とくらしは？

開校 2017年1月21日（土）10:00～16:30(予定)

阪南大学あべのハルカスキャンパス（あべのハルカス23階）

学校長からのごあいさつ

大阪の住民のくらしは良くなったでしょうか、簡単に結論のでる問題ではありません。日本の政治と経済が大きく動いているなかで、大阪の政治と経済も左右されています。大阪の維新政治の8年間で、住民のくらしはどのように変わったのか、その実態について討論し、希望のある明るい大阪をめざすために、第21回おおさか自治体学校を企画しました。

多くのことを学び、語り合う場に、多数の皆様参加をお願いします。

学校長 榎原 正澄

大阪府の描く未来
像はパソコンから始
まるようだ！

大阪府HPより



講義の日程

10:00 開会あいさつ & 基調報告 榎原正澄学校長（関西大学教授）

10:20 特別報告 ①住民のくらしを守るべき自治体はいま 大阪自治労連
②住民自治をすすめる自治体改革 梶 哲教（大阪学院大学准教授）
③地方財政改革で、住民のくらしを豊かに 高山 新（大阪教育大学教授）

12:30 昼食休憩

13:30 リレートーク

①大阪経済の現況と展望 桜田照雄（阪南大学教授）
②市民から見た自治体 中野雅司（大阪を知り・考える市民の会）
③高齢者を直撃する社会保障改革 藤原一郎（中央区自治体学校長）
④学校現場の実態から 平井美津子（吹田第一中学校）
⑤災害時に自治体は機能するか 有田洋明（大阪府職労）

14:45 総合討論 75分
ひとり5分程度の問題提起

16:00 討論のまとめ

16:15 全体総括と閉会 中山徹 大阪自治体問題研究所理事長・奈良女子大学教授

16:30 終了



主催：大阪自治体問題研究所

お問い合わせ：06-6354-7220 e:mail oskjichi@oskjichi.or.jp